

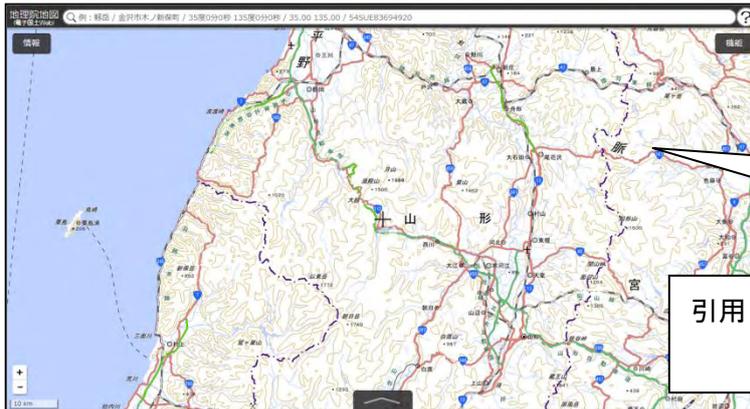
■ 主対象の眺望面と当該建築物の高さの関係図作成方法

① 視点の位置及び標高の計測を行う

GPS などを使用し、視点の緯度、経度、標高を測定する。

機材を持っていない方には、各総合支庁建築課に配置してあるポケット GPS を貸出しすることが可能。(各総合支庁建築課に問い合わせてください)

また、緯度、経度の概数値は、『国土地理院 Web サイト』の地図閲覧サービスで検索することも可能。



地図上で右クリックをした地点の緯度経度、標高が表示されます

引用：国土地理院地図（電子国土Web）
<http://maps.gsi.go.jp/>

② ①で求めた緯度・経度から、主対象までの距離・方位角を求める

「国土地理院 Web サイト」中の「測量計算サイト」の「2 距離と方位角の計算」のページで、データを入力し検索する。

No.	計算種類	説明
1	緯度、経度と地心直交座標の相互換算	緯度、経度、標高、ジオイド高と地心直交座標（X、Y、Z値）との相互換算を行います。
2	距離と方位角の計算	緯度、経度から2点間の距離と方位角を求めます。
3	方位角と距離の計算	平面直角座標から2点間の距離と方位角を求めます。
4	平面直角座標への換算	緯度、経度から平面直角座標へ換算します。
5	緯度、経度への換算	平面直角座標から緯度、経度へ換算します。
6	世界測地系座標換換 (TKY2JGD)	日本測地系に基づく緯度および平面直角座標を世界測地系に基づく緯度および平面直角座標へ換算します。
7	Patch IGS2	地殻変動前の座標値から変動後の座標値へ補正します。

引用：国土地理院「測量計算サイト」

<http://vldb.gsi.go.jp/sokuchi/surveycalc/main.html>

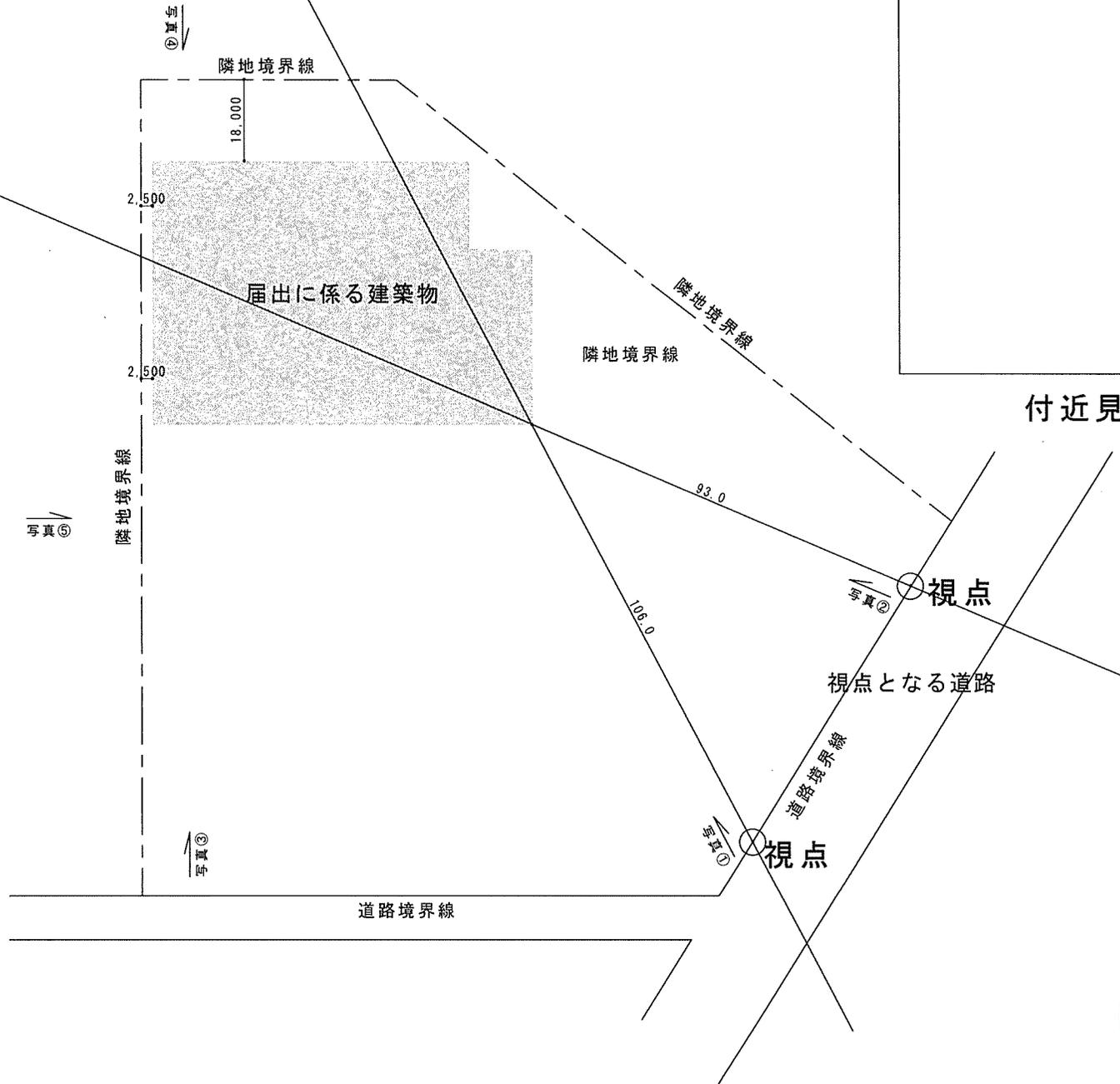
③ ①②で求めたデータから、配置図・断面図を作成し、眺望面と建築物の高さの関係を検討する

別紙「図面作成例」のように作成し、計画建築物等が眺望面を超えないことが確認できれば、OK。

■ 配置図 (S=1:1,000)

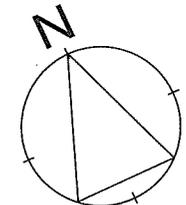
○○山山頂眺望方向

○○山山頂眺望方向

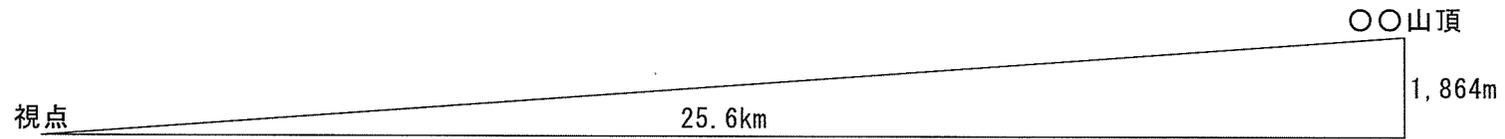


付近見取図

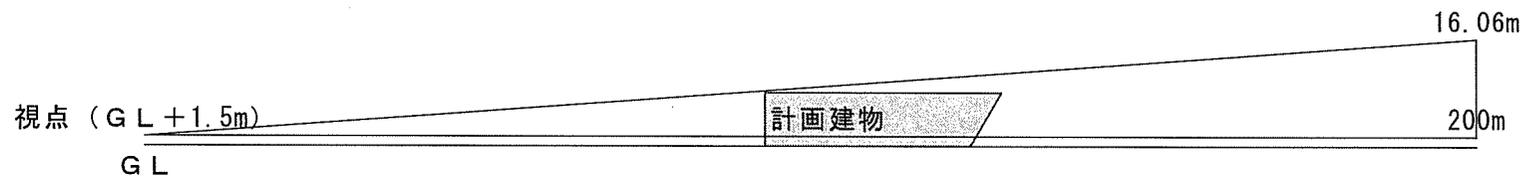
図面作成例



■ 主対象の眺望面と当該建築物の高さの関係



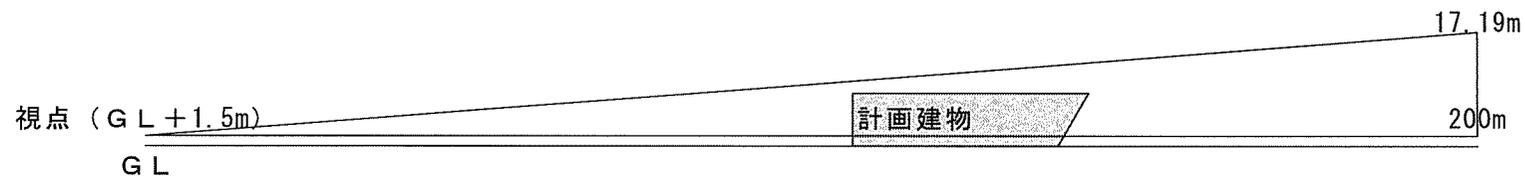
【○○山頂】標高1,984m 【視点】標高120m 【標高差】1,864m 【山頂－視点間距離】25.6km 【仰角】4.2°



【建築物－視点間距離】93m 【眺望面の高さ】8.3m 【建築物高さ】8.0m したがって、眺望面を超えない



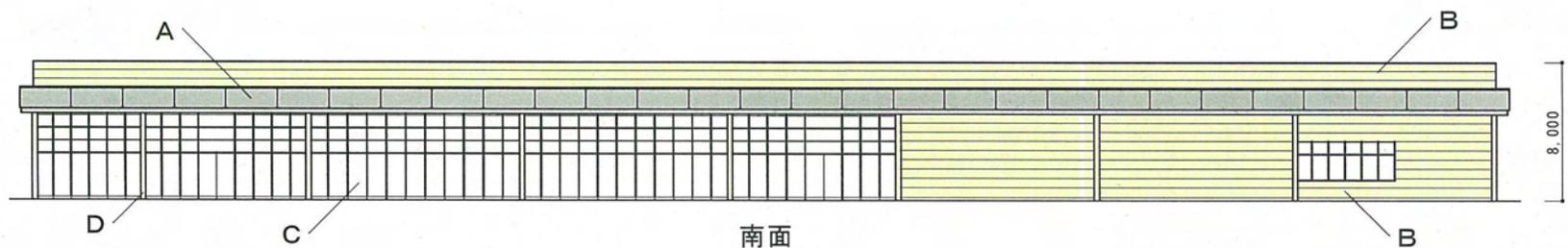
【○○山頂】標高1,462m 【視点】標高120m 【標高差】1,342m 【山頂－視点間距離】17.1km 【仰角】4.5°



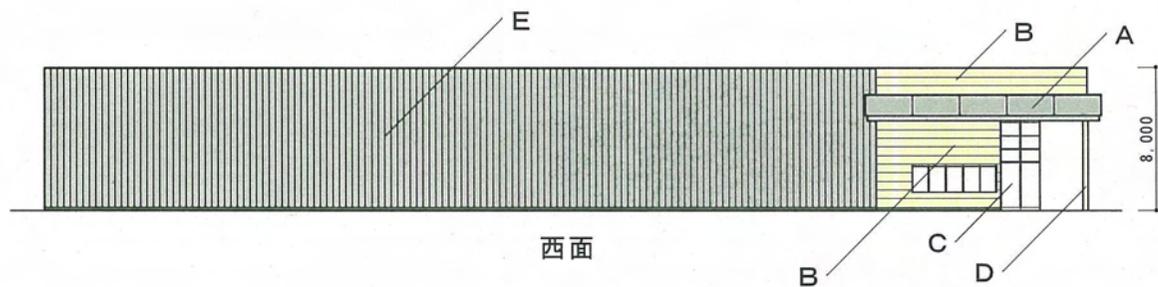
【建築物－視点間距離】106m 【眺望面の高さ】9.8m 【建築物高さ】8.0m したがって、眺望面を超えない

図面作成例

■ 立面図 (S=1:300)



- 凡例 : A ガルバリウム鋼板貼 Gy-7.5 (n-7.5) 131㎡
 B セメント押出成形板貼 EP仕上 p8+ (Y-9.0-3S) 289㎡
 C アルミ製建具 249.5㎡
 D 鉄骨柱 EP仕上 p8+ (Y-9.0-3S) 13.5㎡
 南面 外壁面積 683㎡ (Gy-7.5 19.1% p8+ 44.2% ガラス面 36.5%)



- 凡例 : A ガルバリウム鋼板貼 Gy-7.5 (n-7.5) 20㎡
 B セメント押出成形板貼 EP仕上 p8+ (Y-9.0-3S) 43.5㎡
 C アルミ製建具 11㎡
 D 鉄骨柱 EP仕上 p8+ (Y-9.0-3S) 1.5㎡
 E カラーガルバリウム貼 Gy-7.5 (n-7.5) 372㎡
 西面 外壁面積 448㎡ (Gy-7.5 87.5% p8+ 10.0% ガラス面 2.4%)

図面作成例